

杉並区立小中学校第一次適正配置計画(小学校の統合)の概要

統合する学校

杉並第五小学校
天沼 2-46-10
平成 19 年 5 月
272 人 11 学級

若杉小学校
天沼 3-15-20
平成 19 年 5 月
103 人 6 学級
特別支援学級 11 人 2 学級

統合して新しい学校をつくる理由

両校とも小規模校であり、今後の児童数の推移から適正規模を確保していくことは困難であると予測されるため、相互に統合を必要としています。
また、杉並第五小学校の校舎は平成 20 年には建築後 50 年を迎えます。
学校規模と改築時期の観点から、特別支援学級を含めて両校を対等に統合します。

統合新校

平成 20 年度 (推計)
373 人 12 学級
特別支援学級

統合新校の場所は現在の杉並第五小学校

いずれの校地にもそれぞれの長所がありますが、最終的には両校の多くの児童が通学しやすい点などから、現在の杉並第五小学校の校地とします。

統合時期は 20 年 4 月 新校舎は 22 年に完成

平成 20 年 4 月に若杉小学校の校地・校舎で開校します。
そして、現在の杉並第五小学校の校地に新校舎を建設し、平成 22 年度に移転します。

新しい学校づくり

統合協議会をつくります

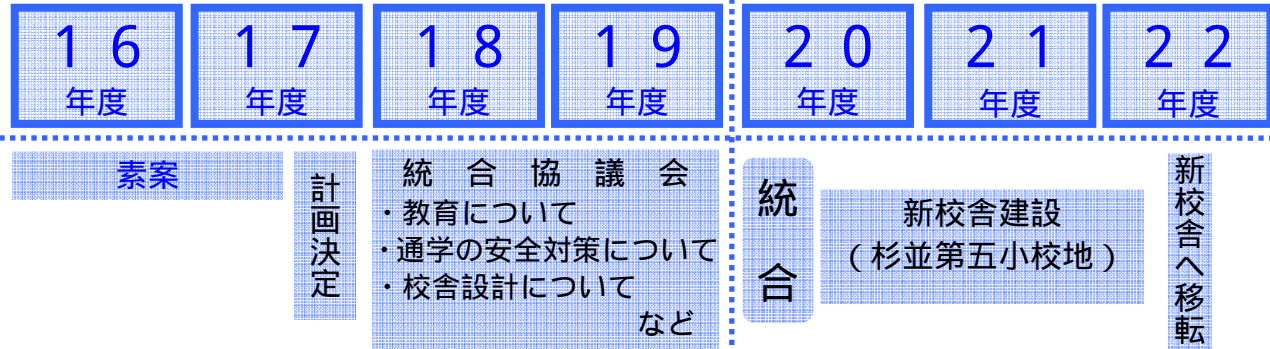
統合を円滑に実施するため、学校関係者や区教育委員会事務局で統合に向けた協議会をつくり、さまざまな問題についてあらかじめ検討し、十分な準備をしていきます。
話し合う内容は、新しい学校の教育に関する事、校舎建設に関する事などです。



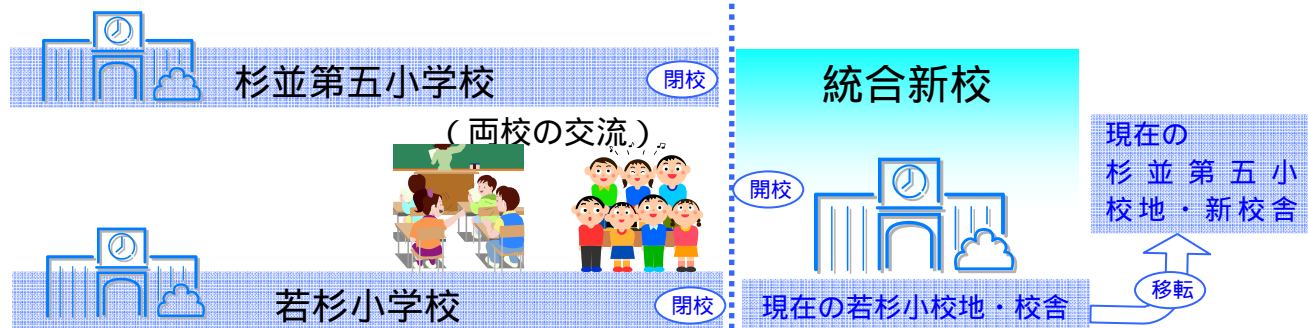
教育委員会として

通学路については、交通量等を踏まえて十分な安全対策を講じます。
特別支援学級の子どもたちが自然な形で統合新校での学校生活を始められるよう、統合前から両校児童の交流を進め、保護者、教職員の理解を深めるとともに、教員配置に配慮します。
両校の統合前の教員をある程度継続して配置し、そこに新たな教員を配置することや、スクールカウンセラーの重点的な配置を行います。

計画の流れ (スケジュール)



子どもたちの学ぶ場



新しい学校の通学区域

新しい学校の通学区域は、両校の通学区域を一体とすることを基本としていますが、現在若杉小学校の通学区域となっている環状八号線の西側区域は、現状の児童の通学動向等を考慮して、通学区域の変更を行います(右図のとおり)。

- 現在の若杉小学校の通学区域
- 新しい学校の通学区域
- 若杉小学校から桃井第一小学校への通学区域変更
- 若杉小学校から桃井第二小学校への通学区域変更

